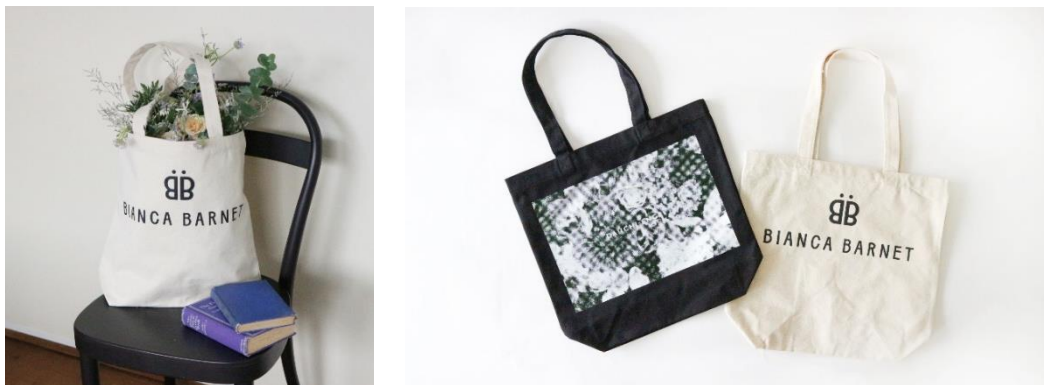


報道関係各位

2020年7月31日
第一園芸株式会社

～サステナブルに花のある生活を楽しむ～
第一園芸のオリジナルエコバッグを8月1日（土）から発売
オリジナルエコバッグの持参で何度でも値引きになる期間限定キャンペーンを開始

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：伊藤昇、三井不動産グループ）では、限りある資源を守る取り組みの一環として、繰り返し使える布製のオリジナルエコバッグを2020年8月1日（土）より販売いたします。



2020年7月1日（水）から開始されたプラスチック製買い物袋の有料化に伴い、第一園芸店舗でも一部ショッピングバッグの有料化および繰り返しのご使用を推奨しています。環境課題に対するサステナビリティ活動をさらに推進するため、「DAIICHI-ENGEI」「BIANCA BARNET」2ブランドの店舗にて、オリジナルエコバッグの販売を8月1日（土）より開始いたします。シンプルなデザインで丈夫なキャンバス地製のため、第一園芸でのお買い物以外にも、日常の様々なシーンでご利用いただけます。

■普段使いできるシンプルなデザインのエコバッグを2種類ご用意

第一園芸店舗の2ブランド（DAIICHI-ENGEI、BIANCA BARNET）のオリジナルデザインを2リットルのペットボトルが3本すっぽり収まる大きなサイズでご用意。トートタイプなので持ちやすく、お買い上げいただいたブーケもそのまま入れてお持ち帰りいただけます。それぞれ白と黒を基調としたシンプルなデザインで丈夫なキャンバス地製のため、お買い物はもちろん、日常の様々なシーンで幅広くご利用いただけます。



①DAIICHI-ENGEI デザイン



②BIANCA BARNET デザイン

①DAIICHI-ENGEI デザイン

サイズ：W420mm×H380mm×D130mm

素材：キャンバス地

取扱店舗：DAIICHI-ENGEI（帝国ホテルプラザ店、伊勢丹新宿店、三越日本橋店、三越銀座店、田園調布店、東京倶楽部ビル店、ゲートシティ大崎店）

②BIANCA BARNET デザイン

サイズ：W420mm×H380mm×D130mm

素材：キャンバス地

取扱店舗：BIANCA BARNET（東京ミッドタウン日比谷店、横浜ベイクォーター店）

※オンラインショップでのお取り扱いはございません。

■サステナブルに花のある生活をお楽しみいただける期間限定キャンペーンを実施

新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続き、家で過ごす時間が増える中、自宅用に花や緑を購入されるお客様が増えています。そこで、8月1日（土）より、オリジナルエコバッグをご購入いただき、次回来店の際に持参されると1,100円（税込）以上お買い上げで100円値引きする期間限定キャンペーンを実施。2020年10月31日（土）まで何度でもご利用いただけますので、この機会にサステナブルに花のある生活をお楽しみください。

<キャンペーン概要>

内容：オリジナルエコバッグをお持ちいただいたお客様を対象に、第一園芸店舗（DAIICHI-ENGEI、BIANCA BARNET）にて1,100円（税込）以上お買い上げで100円値引き

期間：2020年8月1日（土）～2020年10月31日（土）予定

※期間中、何度でもご利用いただけます。

対象店舗：DAIICHI-ENGEI（帝国ホテルプラザ店、伊勢丹新宿店、三越日本橋店、三越銀座店、田園調布店、東京倶楽部ビル店、ゲートシティ大崎店）、BIANCA BARNET（東京ミッドタウン日比谷店、横浜ベイクォーター店）※2デザインどちらも上記店舗でご利用いただけます。



DAIICHI-ENGEI（伊勢丹新宿店）



BIANCA BARNET BY OASEEDS 東京ミッドタウン日比谷店

■第一園芸株式会社 概要

所在地：東京都品川区勝島1丁目5番21号 三井物産グローバルロジスティクス勝島20号館

代表者：代表取締役社長 伊藤昇

創業：1898年（設立1951年）

資本金：4億8千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

URL：<https://www.daiichi-engei.jp/>

店舗一覧：<https://www.daiichi-engei.jp/shoplist/>

■三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、つまりESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）の目標12「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」と目標14「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する」に貢献しています。

